

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
海外デザイン研修 2											
対象	2年次	開講期	前・後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	山田 盛久 他			実務 経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
<p>大学院の意匠・歴史研究室にて西洋建築史研究と横浜・鎌倉の歴史的建造物の実測調査・保存活動に携わる。その後、一級建築士事務所を設立し住宅設計・監理を経験。本校の非常勤講師を経て常勤教員として設計教育に従事。</p>											
授業概要											
<p>この授業では、まず自分で計画を立て、それをもとに法規をチェックし法規に適合した計画にし直す。更に構造計算を行い構造にも適合させる。この一連の作業をすることによりPDCAサイクルを体験し、住宅設計のノウハウを習得する。最終確認として軸組模型を製作する。</p>											
到達目標											
<p>この科目では、具体的な設計体験を通して住宅設計の計画の大切さを再確認し、法規をチェックすることにより社会における建築の重要性を理解し、構造計算や軸組模型を製作することにより安全と快適性の相反する要素を融合する難しさを学ぶ。それらの要素を総合的にまとめあげる力をつけることを目標とする。</p>											
授業方法											
<p>事前の調査・勉強会で学ぶ 現地での建築見学、街歩き、文化を体験、を通して学ぶ</p>											
成績評価方法											
提出物	70%	数回の提出物の成果内容を総合的に評価する									
出席状況	20%	段階的な理解度としての評価									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
<p>この授業では、教員と学生、学生と学生のやり取りを重視する。まずは人の意見を受けとめることが社会人としてのスキルとなる。また自分で調べ解決する能動的な行動を大前提とする。社会人として自立していくため、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応、理由のない遅刻や欠席は認めない。</p>											
教科書教材											
資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	壁量計算 壁量計算の実施										
第2回	壁量計算の修正 壁量計算の修正・完成										
第3回	基礎伏図・1階床伏図 基礎伏図・1階床伏図										
第4回	2階床伏図 2階床伏図の作成										
第5回	小屋伏図 小屋伏図の作成										

2022年度 日本工学院専門学校	
海外デザイン研修 2	
第6回	軸組図 (X方向) X方向軸組図の作成
第7回	軸組図 (Y方向) Y方向軸組図の作成
第8回	軸組模型の作成 (S-1/50) 基礎の作成
第9回	軸組模型の作成 (S-1/50) 基礎の作成
第10回	軸組模型の作成 (S-1/50) 基礎の作成
第11回	軸組模型の作成 (S-1/50) 基礎の作成
第12回	軸組模型の作成 (S-1/50) 基礎の作成
第13回	軸組模型の作成 (S-1/50) 基礎の作成
第14回	軸組模型の作成 (S-1/50) 垂木の作成、外構の作成
第15回	図面の修正 模型及び図面提出